

その後の東日本大震災

赤崎 恒春 [1回生] (昭和45年度卒)

死者・行方不明者約一万九千人余、建物の全半壊など甚大な被害をもたらした東日本大震災から一年四ヶ月が過ぎました。岩手・宮城・福島三県などでは、今なお三十四万人以上が仮設住宅や民間借り上げ住宅で暮らす生活が続いています。時が経つにつれて生活が少し安定して、自治体・住民は住みよい社



会社/震災直後

会社/震災から1年

昨年、寄稿して頂きました1回生の赤崎恒春氏に今回も復興の現状をお伝えしていただきました。全国離れた地においても考えさせられる事が多々あります。皆さんはどのようにお考えでしょうか。

Vol. 25

発行

長崎県立大学佐世保校同窓会 鵬友会会報
佐世保市川下町一三三(大学内)
TEL/FAX 〇九五六一四七五一四六
フリーダイヤル 〇二〇一四七一九〇四四

おとり

長崎県立大学佐世保校同窓会 鵬友会会報

今年度の「就職セミナー」は11月3日(土)・4日(日)

自分の殻を破る第一歩を踏み出す事が出来た。



地域政策学科4年 花田 祐美

昨年参加の学生から嬉しい言葉が届きました。



体育館を使つての就職セミナー

就職活動を振り返ると、初めて本気で取り組んだ事が佐世保セミナーでした。初めは、人前で自分の考えを話す事、恥ずかしさと相手に分りやすく伝えることの難しさを感じ、非常に緊張しました。しかし、ここぞでめげずに自分のためと思い取り組んだことで就職活動のいいスタートを切ることができました。

また、多くの学生と一緒に、様々な面接官の方に面接練習を見ていただいたのはこのセミナーだけでした。人のいい点を盗む事と、公務員の方や人事を担当されていた方々から、異なる角度で指摘やアドバイス頂き大変充実した、多くの気づきを得た二日間でした。

佐世保セミナーに参加したことで、自分の殻を破る第一歩を踏み出す事ができたと思っております。

佐世保セミナーで二つのポイントを体験。



地域政策学科4年 松尾 幸紀

私の就職活動を振り返ったときに、佐世保セミナーはこれから就職活動を迎えるみなさんに、自身を持って参加をおススメできるイベントだと思います。その理由の一つは参加することで、就職活動のはじめの第一歩を踏み出すことができるという点にあります。就職活動の練習、ましてやその重要なポイントとなる面接を経験できることは、今思えばとても貴重な体験であったといえます。

二つ目は社会に出て活躍されている本学のOB・OGの皆さんに面接官をしていただけるという点にあります。それぞれの面接について皆さんのアドバイスをいただき、また、いろいろなお話を聞くことで就職活動の良いスタートを切れることは間違いありません。

立派な先輩方の力をお借りして、就職活動の第一歩を踏み出しましょう！

セミナー応援者募集

本年は11月3・4日開催、参加学生は200名以上。多数の地元応援者を募集します。

お問い合わせ・お申し込みは各支部長又は鵬友会事務局まで

平成23年度鵬友会本部活動報告 平成23年度も各支部の応援を含め、多くの活動を行いました。

☆は支部応援活動

4月4日	第4回大学入学式	於:アルカスSASEBO	千北副会長出席
4月16日	☆福岡支部総会	於:平和楼	藤木副会長出席
5月21日	☆東海支部総会	於:名古屋国際ホテル	会長出席
5月28日	☆関東支部総会	於:千代田区立富士見区民館	会長出席
6月8日	大学就職ガイダンス講師		
6月10日	本部役員会議	於:レオプラザホテル佐世保	
6月25日	☆熊本支部総会	於:熊本交通センターホテル	
7月16日	役員総会	於:レオプラザホテル佐世保	
9月1日	会報「おとり」vol.24発行	(10,473通)	
9月15日	鵬祭実行委員会へ運営費援助		
10月8日	☆大分支部総会	於:コンパルホール	
10月9日	空手道部主催創部45周年記念OB総会	於:レオプラザホテル佐世保	藤木副会長出席
10月19日	大学就職ガイダンス講師		
10月22日	☆関西支部総会	於:ホテルグランヴィア	藤木副会長出席
10月26日	大学就職ガイダンス講師		
10月29日	本部役員会議	於:レオプラザホテル佐世保	
11月5・6日	佐世保就職セミナー		
		於:長崎県立大学	学生139名、OB49名が参加
11月12・13日	鵬祭にバザーを出店		
12月10日	本部役員会議	於:レオプラザホテル佐世保	
【平成24年】			
1月15日	大分就職セミナー	於:大分センチュリーホテル	
1月21日	☆長崎支部総会	於:ホテルセントヒル長崎	藤木副会長出席
2月18日	☆宮崎支部総会	於:ホテルメリージュ	宮地副会長出席
3月10日	☆鹿児島支部総会	於:ホテルパレスイン鹿児島	千北副会長出席
3月19日	第1回卒業式	於:長崎プリックホール	千北・宮地副会長出席
		大学656名、大学院41名が卒業	
		佐世保校卒業生へ鵬友会より記念品として実用辞典を贈呈	
3月31日	平成24年度入学生461名より終身会費として	5,532,000円が納入された	

◆道路・JR
市内のほとんどの道路は修復され、ここばかり無くなりました。国道四十五号線(仙台から沿岸沿いに八戸まで)は一部迂回がありますが、やっと全線開通しました。

JRは仙石線(仙台・石巻)沿線の一部が開通していませんが、線路の目途がたつていませんが、線路を山側に五〇〇m移し三年後に全線開通の予定で進んでいます。



町の様子/震災から1年

町の様子/震災直後

◆町の様子
市街地の道路にあった瓦礫、陸上に打ち上げられた漁船はすべて撤去され、全半壊の家もほとんど取り壊され、瓦礫が一次・二次処分場や山となつています。瓦礫をひとつずつ分別し、その瓦礫の処分を各県の自治体に要請しても放射能問題などで拒否されて復旧・復興の足かせになつて実態であります。

◆地盤沈下・高上げ
石巻地区では今回の地震で〇、七m地盤沈下があり、岸壁や防潮堤の整備が進められ、高さ二、五m防潮堤が新設され、二十六年中では完成予定です。

地盤沈下による高上げを〇、五mにすることですでに営業を再開した会社は、高上げが出来ずに困っています。



野蒜駅/震災から1年 仙石線野蒜駅山側に500m移動

野蒜駅/震災直後

◆食品と風評被害
四月から国の暫定基準値が放射セシウム五〇〇ベクレルから一〇〇ベクレルと基準値が厳しくなり、安全な魚を提供することが再生の絶対条件ということで、検査体制を充実させて、安全な魚を出荷できるようにしています。宮城県でもまだ出荷されない魚種があり、福島県は

◆住宅移転
沿岸部の被災地区で計画が進んでいる高台移転計画で、高台に遺跡が多数見つかると、移転事業の足かせになつています。

集団移転事業は地区の全戸合意が原則で、土地の愛着・高齢化・経済的負担で先に進めないと進められません。



71年 古野電気(株)入社
所長・支店長歴任後
フルノ東北販売(株)
代表取締役社長就任
97年 フルノ北日本販売
代表取締役社長就任
09年 古野電気(株)嘱託勤務
現在 64歳



【気仙沼】陸上に打つ上げられた漁船/市で残すか議論になっている

最後に、長崎県の市・町・村から石巻市役所に長い間応援に来て頂き有難うございました。これから東北産地品購入や観光に来ていただき復旧・復興の応援を宜しくお願い致します。

もつと厳しいものがあります。野菜や果樹の市場価格が下落し、農業は賠償がなければ成り立たなくなるという危機感があり、また酪農農家では牧草地が汚染され、傾斜・隆起があつたりで除染が進まず、餌を買う経費がかさみ、さらに肉牛の価格暴落と二重パンチで悲鳴を上げています。

福島第一原発による風評被害で食品の市場価格下落や観光客減少が続いています。安全宣言が消費者の隅々まで届き、不安を払拭するには、まだまだ時間がかかると思われます。



2007年1月/最終講義後

鵬友会副会長 千北裕吉

去る六月十三日、長崎県立大学元教授の建野堅誠先生がご逝去されました。享年七十歳。

先生は早稲田大学大学院を卒業後赴任され、六十五歳で退官されるまでマーケティングの第一人者として活躍されました。

佐世保市はもとより松浦市、大村市等県内各地の地域商業近代化委員として、まちづくりに貢献されました。国内にとどまらず、中国国立華僑大学等、中国とも交流を深められ、日中親善にも大いに貢献されました。

留学生からも慕われ、弔電の多さにその人柄が偲ばれます。先生はお酒が好きでしたが、この他、中国の高級茶に目がなく、中国に行かれる度に大量に買い求めては、私たちに振る舞われ、小さな湯飲み茶碗というが、益みしたい陶器で味わつて飲むのがお好きでした。

退職後は悠々自適の生活で、色々とお話を聞かせていただきました。もつと長生きしてご指導いただきたかったのに残念でなりません。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

計報

建野堅誠元教授ご逝去

会長挨拶

鵬友会会長 澁谷 明幸



長崎県立大学佐世保校同窓会「鵬友会」会員の皆さん、こんにちは。第五代鵬友会会長の澁谷明幸でございます。

鵬友会会報「おひとり」(Vol.25)発行に際しまして、会員の皆様にご挨拶申し上げます。

県立大学佐世保校も昭和四十二年開学以来四十五年を経過し卒業生も一万三千人を超え、また県立大学同窓会「鵬友会」も昭和五十五年設立以来三十二年を経過しました。

支部数も関東・東海・関西・中国・福岡・佐賀・長崎・大分・宮崎・熊本・鹿児島・十二支部となり、支部活動も年々活発になってきています。加えて、佐世保市在住の有志の方々、新たに佐世保支部設立を準備されています。今後、支部活動が益々活性化し、ひいては同窓会活動全体が活性化されることを期待しています。

会長就任以降数地区の支部総会に出席させていただきました。支部総会参加者の高齢化・固定化が懸念される一方で、若手の会員に声を掛け若手参加者を増やし支部活動を活性化させようと努力されている支部もあり、頼もしく感じています。「鵬友会」の目的はその名の通り、会員相互の親睦を深め、母校の発展につくし、あわせて社会の発展に貢献することにあります。今までの同窓会

活動はややもすると県立大学の支援活動に重点を置く傾向を否めませんが、今後は同窓会活動に軸足を置いていきます。会員の皆様におかれましては、同級生・先輩後輩に声を掛けていただき、支部活動ならびに本部活動の活性化にご協力いただきますようお願いいたします。今後とも私をはじめ役員一同精一杯務めていく所存でございますので、皆様のご支援・ご協力を切にお願いし、まして簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。

平成二十四年度役員総会

鵬友会副会長 藤木 秀人



平成24年度役員総会

去る平成二十四年七月十四日(土)十七時よりレオプラザホテルにて、平成二十四年度長崎県立大学佐世保校同窓会鵬友会役員総会が開催されました。当日は、天候不良のため、大分支部、

熊本支部は欠席(大分支部は遅れて懇親会以降出席でしたが、無事終了することができました)。

澁谷会長も遅れたため、副会長の藤木が議長を務め、まず平成二十三年度の活動報告を行い、次に平成二十三年度決算報告を会計の岩崎氏からあり、関東支部長崎支部から活動費・支部返還、鵬祭出店による収入、会員寄付金等の収入増と支出で寄付金や経費見直しにより、繰越金が前年度比増となり、監査報告が渡辺氏よりあり、全会一致で採択されました。次に各支部より平成二十三年度の報告と平成二十四年度の活動予定報告がありました。

次に平成二十四年度活動計画が千北副会長よりあり、主な点は、総会開催年度は会報の発行時期九月を五月に前倒しし、総会の案内等を含め、郵送費を節減する、佐世保支部発足の説明等がありました。

続けて会計岩崎氏より平成二十四年度予算説明があり、全会一致で採択され役員総会が終了しました。

その後、大学の理事長、学長等の来賓を迎え懇親会があり、大学側と鵬友会との交流や各支部との情報交換等楽しいひとときが過ごせたと思います。



懇親会にて

佐世保(県北)支部の設立に寄せて

鵬友会相談役 草野 豹一郎

このたび、鵬友会役員総会の承認を得て予算化され「佐世保支部」を立ち上げることとなりました。大変喜ばしいことです。

対象となる支部会員は、千名程度が予想されますので、「支部設立総会」までにはしばらくの猶予が必要だと思われまます。私もこの発起人の一員としてお力添えをしたいと思っています。

同窓会は、三十数年前に発足しましたが、お蔭様で初期の目的である全国規模での「支部の開設」「事務局の設置等」を達成することができました。これは、ひとえに関係各位の努力の賜物であり、この場をお借りして、当時の設立に携わった一会員として感謝申し上げます。

ところで、本会員は、時代の経過とともに「二十歳代」から「六十歳代」に到るまで、それこそ幅広い年齢層で構成されています。

私(選)ロートル世代は、はや還暦を過ぎずでに現役を引退し、「孫」と遊び、「年金暮らし」に入っている者も数多くなってきました。

そこで、特に「若き世代」や「中堅世代」をお願いしたいことがあります。それは、これらの世代の方々が、よりフレッシュな意見を提示し、本会を大いに盛り上げてもらいたいということです。

私は、これからの本会の重要な役割は、本会の発展や母校への協力はもとより、より具体的な活動を通じての社会的貢献であると考えています。(同窓会役員等の総意でもあろうと思います。)



母校正門

◆追記……「時代雜感」私は、現代社会の若き世代の人達が、このようなギスギスした管理社会の中で必死になって就職口」に悩み、「仕事のあり方」に悩んでいる姿を見て涙することがあります。

「格差社会」や「実力・成果主義」は我々が本当に理想とする社会なのか……そうではないでしょう。私達が目指すべき社会は、直接的な行動の伴う「思いやり」のある、そして「自己犠牲」を払いつつも、少々のことではヘコタレナイ「それがどうした!!」と自由に、声高に言える社会だと思えます。次世代を担う若者達を微力ながら、応援していきます。

猛暑の日々が続いています。が、会員皆様方の益々のご健康と活躍を祈念申し上げます。

長崎支部

支部長 尼崎 彰

〒800-0809 長崎県長崎市

〒800-0809 長崎市

平成二十三年度長崎支部活動報告

平成二十三年度の長崎支部における活動状況についてですが、まずは、七月十六日に「レオプラザホテル佐世保」で開催された鵬友会役員総会、会員総会、懇親会に出席しました。清浦理事長、太田学長をはじめとした大学関係者及び鵬友会本部の方々、多くの会員の皆様との交流を深めることができ、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。

また、長崎支部では大きなイベントとなつての毎年恒例の総会・新年会を平成二十四年二月二十日に長崎市



1月の支部総会

宮崎支部

支部長 中船木 秀敏

〒800-0902 宮崎県宮崎市

〒800-0902 宮崎市

第二回総会を開催 更なる盛上がりを期待

平成二十四年二月十八日(土)、ホテルメリージュ「琥珀の間」にて二回目となります支部総会を開催いたしました。出席総数は三十二名でした。

当日は、来賓として鵬友会副会長の宮地学様をはじめ、福岡支部 熊本支部、鹿児島支部、そして遠くは関西支部から役員の皆様も出席いただき総会を盛り上げていただきました。ご来賓いただきました皆様に、心から感

の「セントヒル長崎」で開きました。当日は、大学から清浦理事長に、本部からは藤木副会長にご出席いただき総勢三十名の皆様と、懐かしい思い出や貴重な情報交換などで楽しいひとときを過ごすことができました。

今回の総会・新年会には、関西支部から金子副支部長さんも駆けつけていただき、おなじみの顔ぶれの方々に加え、初参加の六名の方も来られるなど、たくさんの方々の皆様にお集まりいただき、大変賑やかな会となりました。今後も、支部の活動がより活性化するように、会員の皆様からご提案をいただきながら検討していきたいと考えています。

なお、今年度も例年通り年明け一月に、総会・新年会を開催する予定です。詳しい日程等が決まりましたら同窓会のホームページ等でお知らせしますので、会員の皆様ふつてご参加ください。



第2回支部総会

謝申し上げます。支部総会は、中船木宮崎支部長の開会挨拶に始まり、活動報告、会計報告ならびに会計監査報告、来賓紹介、質疑応答、事務局からのお知らせとスムーズに進行し、無事終了いたしました。



続いての懇親会では、宮地副会長の乾杯のご発声のあと、参加者はそれぞれグラスに酒を注ぎ合い、時間を経るごとに宴は盛り上がりが増していき、最後は又川副支部長の「頑張ろう」三唱にて、懇親会を終了しました。その後、二次会(すなわく、あけみ)へ向かいました。希望者のみの参加でしたが、十八名に参加いただき、福岡支部の米村裕昭副支部長(現支部長)に乾杯をお願いしました。

この頃になると、皆さん流石に酔いが回ってきて、かなりテンションが上がっており、あちこちから大きな声が飛び

関西支部

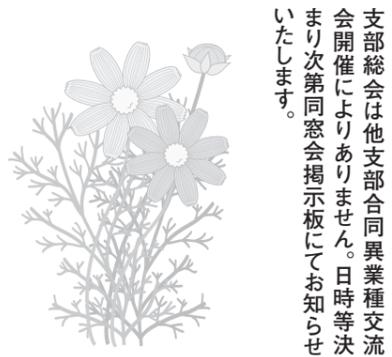
支部長 星 憲夫

〒607-2205 大阪府高石市

〒607-2205 高石市

交流会での経験は 人生の大きな勉強に

卒業から四十年、活動にかかわって二十余年。友となるかもしれないみなさんと私たちのこれからの生き方を模索する空間をこれからも提供す



三日間あつという間に過ぎてしまいました。が、とても充実した時間をすごすことができました。これもすべて星さんをはじめ鵬友会先輩のおかげです。

以下具体例、中身、他二名については割愛する。

支部総会には他支部合同異業種交流会開催によりありません。日時等決まり次第同窓会掲示板にてお知らせいたします。



母校正門

福岡支部

●支部長 米村 裕昭 (46年度卒)
0900・80521・60808
hikoiki.yonemura@gmail.com
(自宅)
福岡県宗像市泉ヶ丘1-15-19

福岡支部のスローガンは『組織力の強化』

卒業以来四十年という時の流れの速さに驚いています。当時、在学中にお世話になった最後の岡崎先生も、昨年退官されましたので、今はさみしい思いでいっぱいです。そんな私も、現役時代は、忙しさに加えて、同窓会に一度も参加することがありませんでした。しかしながら、五十五歳で役職定年を迎えたとき、会社以外で知っている、付き合い合っている人がいないことに気づき、同窓会に出るようになりました。

それから約八年、九州管内各支部の総会にも参加させていただきました、やうと同窓会にも仲間ができて、少しはお役に立ってきたのかなと思っていた矢先、前支部長の安田氏から体調不良のため、支部長交代のお話をいただき、さる四月二十一日の臨時支部総会にてご承認をいただいた次第です。

同窓会では、本当に未熟な私ではありますが、与えられました短い残りの時間、しっかりと、職責を全うしたいと思っております。どうかよろしくお願いたします。

さて、本年度の鵬友会福岡支部のスローガンは『組織力の強化』であります。少し多い回数になりますが、幹事さんのご努力で、月一回、居酒屋で定例会を開催し、来れる人だけ、気楽にきていただいて、わいわい、がやがやとやっております。時々ではあります「Facebook」を

見た平成卒業生の同窓生の飛び入り参加もあり、参加者の平均年齢を大幅に下げていただいております。

また、慣例となりました「就職セミナー」も福岡支部より毎年三〜四名参加させていただいております。

厳しい時代だからこそ、同窓生として母校のために、少しでも、お役に立ちたいと思っております。

【何年たつても、仲間は仲間】を合言葉に、今年も鵬友会福岡支部は頑張ります。

★福岡支部の次年度の総会は、平成二十五年四月二十日(土)を予定しております。居酒屋に行く気分でお気軽にご参加ください。



4月の福岡支部総会

鹿児島支部

●支部長 中野 実 (45年度卒)
0964・45・5325
鹿児島市元丁13987-3
サンハイランドビル 301

一回生から昨年の卒業生までの「絆」

卒業生、在校生の皆さんこんにちは。昨年三月十日の東日本震災以来、卒業生の皆さんをはじめ多くの方々にとつて、生活面・仕事面にと、厳しさが一段と増してきているように感じます。また、在校生、特に就職を目前にした方々にとつては例年に無い厳しさを実感されていることと思います。

こういう時だからこそ、我が母なる大学を中心に、全国に活躍されている卒業生の方々と、これから社会へ出て活躍しようという在校生の皆さんがコミュニケーションをとりながら、「絆」を築き上げて行くことが大切になつてきていると実感しています。

さて、去る三月十日(土)に、鹿児島支部の第三回総会懇親会を鹿児島市内のホテルパレスイン鹿児島において開催しました。

大学より上野就職課課長をはじめ岡崎先生、千北鵬友会副会長、福岡、熊本、宮崎の各支部からの参加をいただき、総勢四十余名が参加しました。鵬友会鹿児島支部も三年目を迎えることができ、これも卒業生をはじめ関係者の皆様のご理解とご協力があつたればこそと、役員一同感謝しております。

総会の方は冒頭で書きましたように、先の未曾有の大震災で亡くなられた多くの方々に対し黙とうをささげたのち、「鹿児島支部も三年目を迎えることができましたのは、偏に関係者、支部



第3回鹿児島支部総会参加者一同

会員の協力の賜物。大震災は我々に多くの試練を与えたが、人と人との関わり大切さを教えてくれた。これからもこの絆を大切に、より一層支部を盛り上げていこう。」と、中野支部長の挨拶でスタートしました。



懇親会

でもある岡崎先生の昔話を交えた挨拶には、参加者の皆が頷きながら聞き入っていました。

昭和の回生から昨年卒業された方まで幅広い層の方たちが世代の壁を超えて語りう姿は、同じ大学の卒業生という「絆」を強く感じました。

【何年たつても、仲間は仲間】という言葉が、心地良く余韻を引く瞬間でした。

そこかしこで繰り広げられる会話は、時間を忘れ、際限なく続いていくような感覚がありました。無情にも終了の時間が迫り、来年の再会を約束しながら懇親会を閉会しました。

この後参加された多くの方が、二次会・三次会へとネオン輝く天文館の光の渦の中へ。夜の天文館を大いに楽しんでいただけではないかと思っております。

鹿児島支部では、第四回支部総会を平成二十五年一月十六日(土)に開催する予定です。詳しくは後日案内します。今回出席された方は勿論ですが、折り悪く出席できなかった方々など多くの方々の参加をお待ちしています。

鹿児島支部事務局
五十年卒濱田 一穂

熊本支部

●支部長 杉田 恵司 (47年度卒)
0900・381・4493
(自宅)
熊本市中央区神水町六一五

熊本支部活性化に向けて(支部総会報告)

熊本支部総会が、六月二十(土)、熊本交通センターホテルでありました。大学から石川先生と柴田次長、本部から千北副会長においでいただき、また福岡支部、鹿児島支部からも激励に来て頂き、大いに盛り上がりました。翌日のゴルフコンペも天候にも恵まれ、皆、年齢を感じさせない軽やかな動きで、皆好スコアでした(そうでない方はごめんなさい)。某支部長の口撃で、ベースを乱された方もいたようですが、日頃の運動不足の解消に大いに役立ったと思います。

さて、本題の総会懇親会は、一七名の出席で、うれしいことに若い方の参加も多く、また女性の参加も二名有りました。支部の将来にとつて頼もしい限りです。

二次会・三次会も盛り上がり、翌日のゴルフのことも忘れて、夜遅くまで話が弾みました。今後の支部の予定に、忘年会があります。

また、支部活動の基本方針として、大学の諸活動への協力、現役学生への支援、本部との協力・協調、他支部との交流協力、支部会員間の親睦と協力を目指しております。

特に力を入れて行きたいのが、支部総会への参加者を増やすこと、特に若い仲間と女性に是非参加していただくよう、雰囲気と環境作りに努めていきます。

長期的な展望として、距離的に参加

が難しい会員(県南、天草などの方)について、今後どのように交流を進めるかと言うことも大きな課題で、将来的には、財政に余裕が出てきたら、出張役員会を人吉、水俣、牛深等で開き、交流を深め、意見や希望を聞いて行きたいと考えています。

せつかく支部がありますので、南北の会員同士の交流にも役に立ちたいと考えています。

さて最後に、全国の仲間に向けて熊本のPRを!

熊本は、地理的に九州の中心に位置し、空港もあり高速道路も新幹線も通つていますので、佐世保からも本州からでも便利なところですよ。

昨年、新幹線が開通し、本年四月には熊本市は政令都市になり、全国に向けて観光客の誘致を主眼とし、全国的には、阿蘇などの有名な観光地以外にも、海の幸と温泉の天草や水俣、芦北、山の幸と温泉と清流(ユヤマメ)の球磨、人吉、溪谷と温泉の菊池、山鹿など各地に温泉隠れた名湯があり、家族旅行やグループ旅行にもうってつけです。そして、熊本と言えば馬刺しで、県内どこでも食べられます。また、最近では肥後の赤牛も売り出し中です。

時間の無い方向けには、熊本市内でも熊本城や水前寺公園以外にも、史跡などの施設が多岐あります。時間次第でいろいろなコースが楽しめます。

初めての方は是非一度、来たことのある方にも、まだまだ隠れた名所がたくさんありますので是非おいで下さい。山海の珍味と肥後美人がお待ちしております。

【何年たつても、仲間は仲間】



東海支部

●支部長 中村 一 (48年度卒)
05087・59・9073
(自宅)
愛知県江南市高屋町花戸83

継続出席者をベースに新規参加者の掘り起し

東海支部は第六回総会懇親会を五月十九日に名古屋国際ホテルにて開催致しました。

来賓として本部から澁谷会長にご参加頂き、支部会員参加者十三名とあわせて計十四名の支部総会となりました。人数は少ないながら懇親会は大変盛上がり、例年通り二次会へと繰り出しました。

私は支部長就任以来この二年間、支部活動の活性化の為に、総会出席者をいかに増やすかを考えて取組んできましたが、残念ながら例年と変わらず増員出来ませんでした。

具体的には、過去の参加者のリストアップを行い、今回出欠の無回答者及び、欠席の方に再度連絡し出席要請(二十名)するも三名の追加出席に終わりました。

当支部(愛知・岐阜・三重・静岡県)には約三百二十名の卒業生が在住の中、毎回参加者が十五名(出席率四六%)前後です。

そんな中、過去六回の参加人数(三十二名)を調査したところ、回別出席人数は六回二名、五回五名、四回二名、三回四名、二回十名、一回だけ出席が九名でした。

今後の取組で継続出席者(四〜六回)九名をベースとして、過去一〜三回出席者一十三名に連絡を取り出席(継続)要請をまいります(目標十名)。



第3回鹿児島支部総会参加者一同

今回ご出席いただいた千北鵬友会副会長、上野就職課課長から鵬友会の現状や学生の就職状況などを紹介されながらのご挨拶をいただき、これから大学と支部、とりわけ卒業生の方々とこれから卒業していく学生との絆を作り上げていかなければならないという使命感を痛感しました。

引き続き本題である昨年二年間の活動報告、会計報告、会計監査、及び二十四年度の活動予定、予算案などの報告がなされ、全会一致で承認され、総会も無事終了、参加者全員で記念撮影。

懇親会では、我が大学の歴史の番人

また、これに加えて新規参加者(特に若手)をいかに確保するかが課題だと思っております。

次回支部会員参加者二十名を目標に課題解決を図っていきます。



第6回東海支部総会

内での懇親会(七名)開催や就職セミナー支援(一名)に留まり、なかなか次の展開が描けませんでした。いかにせん、偉大な先輩方の連帯感や実行力には、足元にも及ばず力不足であることを痛感しており、平成二十四年度についてはベースとなる広島市と福山市の二地区に加え、新たに岡山市での懇親会等の開催や、関西支部のご支援のもと支部交流会等も実施したいと考えております。

皆様からのご意見をどんどん頂く中で、非常に広域である中国支部の活動を少しでも広げていきたいと思っておりますので、何卒、ご支援ご協力をよろしくお願いたします。

中国支部

●支部長 栗根 秀則 (59年度卒)
0902・278・2635
(自宅)
広島市西区井口6-2-52-101

岡山市での懇親会や関西支部との連携模索

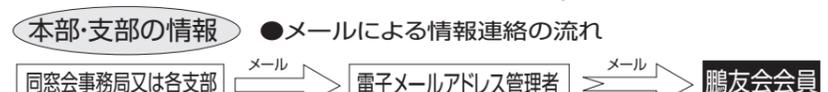
平成三年十一月の福山での中国支部設立からは、二十一年が経過し、初代の荻野幸信(四十五年年度卒)さん以来、大先輩の皆様方に次いで五代目の支部長を、拝命しております。

平成二十三年年度の活動は、広島市

メールでの情報を希望の会員はアドレスをお教えてください。

年々会員数が増加するなかで、総会や各支部活動の案内の連絡を、従来の郵便に頼っていたのでは、同窓会活動経費を圧迫してしまいます。そこで、平成15年7月の役員総会において、今後は積極的に電子メールを使った情報連絡に取り組むことを決議いたしました。つきましては、会員の皆様はメールアドレスを管理者にお教えてください。なお、会員の皆様からいただいたメールアドレスは、プライバシー保護の観点から、厳重に管理し、他へは一切漏らしませんので、ご安心ください。また、登録メールアドレスの確認も含めて、この会報の届く直前に「会報発送メール」を送信しました。メールアドレスを以前に登録いただいている方で、未着の方は誤ったメールアドレスが登録されている可能性がありますので、再度お知らせください。

メールアドレスの管理者氏名/小室 宏/関東支部長・アドレス/komuro@ho-yu.com(ここにメールを送って下さい)



佐賀支部

●支部長 坂井 真洋 (51年度卒)
8000・0831・0759
(自宅)
佐賀県三養基郡みやき町原古賀1-024・7

本年は二年に一度の佐賀支部総会の年

本年は、二年に一回開催しています「鵬友会佐賀支部総会」の年です。秋に開催予定で、近日中に御案内をお届けできる予定です。
「同窓会」というと、仕事や子育てなどがひと段落しないと出席する余裕もないかもしれません。でも、そういう多忙な時期でも、同窓会に出席することを得るものがあります。

「同窓」の先輩・後輩・同期生とスムーズに異業種交流を体験できたり、就職セミナーに参加して面接者となって学生に質問することによってかえって自分自身の内面について考えさせられたり、他にもまだまだ得るものがあります。

今まで支部総会に参加されなかった方には、特に今秋の支部総会には御参加いただきますよう、支部事務局一同心からお待ちしております。

また、都合により参加できない方も、支部の組織強化のため、「返信」だけは必ず投函してくださいませようよろしくお願ひします。

【追伸】
今まで他の支部所属の方でも、現在佐賀県内に在るいは佐賀県内にお勤めの鵬友会会員の方は、私の携帯電話へ御連絡下さい。
日本中でその大切さが再認識されている、人と人との結びつき「絆(きずな)」を鵬友会佐賀支部も大切にしていきたいませす。

関東支部

●支部長 小室 宏 (60年度卒)
8042・9972・7931
埼玉県飯能市美杉1-2-015

目標は毎月イベント開催 & 累計参加者・百名

この度五月の支部総会で推挙されて第七代の関東支部長の職につきました小室宏と申します。私はこの三月末「長崎県立大学東京駐在閉鎖」に伴って大学職員を失職しました。しかし、縁あって立命館東京キャンパスにて公開講座と校友会(立命館では同窓会をこう呼んでいます)の仕事させていたれています。

私が鵬友会とかかわって二十二年間他校の同窓会活動も見聞きする中で感じていますが、十人いたら十通りの同窓会活動、百人いたら百通りの同窓会活動、千人いたら千通りの同窓会活動をそれぞれがイメージしているということです。

一人ひとり年齢も違えば、家庭や仕事も、社会的地位も、もつといえは生きてきた歴史が違います。

そのようの中で、生きていくために不可欠な水・空気・衣食住とは異なり、その人が「欲しい、居たい、過ごしたい」と思つて初めて(その人にとつて)存在価値が生まれるものの最右翼が「同窓会」だと最近痛切に感じています。ですから、今回の関東支部長就任(実は一回目です)にあたって、心に念じたことは「千通りは難しいが、百通りの同窓会活動をしよう」「一回の活動の参加者は少なくとも結果として多くの方に参加していただく」ということです。よつて、今年度(二十五年四月初旬

まで)の目標は「毎月イベントの開催」「累計の参加者が百名」です。

関東支部のイベントは「世界のビール」「地酒」「パーベキュー」「ゴルフ」「ボーリング」「温泉」「桜の花見」「紅葉狩り」「蜜狩り」「恩師との語らい」「異業種交流」「特別講演」「自己研鑽」「学生のキャリア形成支援」「学生の就職支援」「在校生とのふれあい」などなど何でも計画していきます。

「こういうイベントはどうか」と思つたら迷わず小室に連絡してください。

二月月後は実現いたします。さて、具体化しているもの(半製品も含めて)列挙しますので、早速、支部長の小室まで参加申込をして下さい。(080-7005-6214かkomuro@ho-yu.com)

【実施済み】

- 六月十三日(土) U三〇(アンダーサーティ)ワイガヤの会 (七名参加)
- 六月二十三日(土) 渋谷の真真中でホテルを楽しむ会 (参加者なし)
- 六月二十五日(月) 渋谷の真真中でホテルを楽しむ会 (参加者なし)
- 六月三十日(土) 東北復興支援・地ビールを楽しむ会 (二名参加)
- 七月十四日(土) 本部役員総会への派遣 (二名派遣)
- 七月三十日(月) ビールフネタ 世界のビールまつり (二名参加)

【役員会で承認済み】

- 七月中旬〜八月下旬 佐世保就職セミナー派遣者選定委員会
- 八月二十六日(日) プレパーベキュー大会@飯能
- 九月十六日(日) 長崎県立大学東京のつどい

平成24年度予算

(収入の部) (単位:円) 平成24年7月14日

科目	予算金額	備考
1 会費(卒業生)	120,000	@12,000×10名
2 会費(新入生)	5,520,000	@12,000×460名
3 名簿代	-	
4 寄付金	280,000	
5 預金利息	2,000	
6 雑収入(小計)	175,000	
前年度繰越金	6,097,000	
前年度繰越金	4,642,458	
合計	10,739,458	

(支出の部)

科目	予算金額	備考
1 鵬祭援助金	150,000	
2 卒業記念品代	270,000	
3 通信費	1,100,000	
4 人件費	900,000	
5 支部活動費	980,000	12支部
6 旅費交通費	300,000	
7 渉外費	200,000	
8 事務局費	150,000	
9 印刷費	900,000	
10 鵬友会基金特別積金	-	
11 留学生関係費	-	
12 会議費	100,000	
13 総会費	650,000	
14 雑費	10,000	
15 部活援助費	20,000	
16 就職活動援助費	150,000	
(小計)	5,880,000	
次年度繰越金	4,859,458	
合計	10,739,458	

平成23年度予算及び決算報告書

(収入の部) (単位:円) 平成24年3月31日

科目	予算金額	実績金額	備考
1 会費(卒業生)	180,000	120,000	@12,000×10名
2 会費(新入生)	0	12,000	@12,000×1名
3 会費(次年度新入生)	5,400,000	5,532,000	@12,000×461名
4 名簿代	0	10,000	
5 寄付金	260,000	287,000	
6 預金利息	6,000	1,811	
7 雑収入(小計)	0	706,300	
(小計)	5,846,000	6,669,111	
前年度繰越金	3,622,838	3,622,838	
合計	9,468,838	10,291,949	

(支出の部)

科目	予算金額	実績金額	備考
1 鵬祭援助金	150,000	150,000	
2 卒業記念品代	260,000	268,800	
3 通信費	1,200,000	1,097,792	
4 人件費	950,000	886,480	
5 支部活動費	880,000	880,000	11支部
6 旅費交通費	200,000	273,000	
7 渉外費	200,000	336,560	
8 事務局費	200,000	122,307	
9 印刷費	900,000	787,500	
10 鵬友会基金特別積金	0	0	
11 留学生関係費	0	0	
12 会議費	100,000	91,046	
13 総会費	500,000	621,006	
14 雑費	10,000	0	
15 部活援助費	20,000	0	
16 就職活動援助費	150,000	123,000	
17 会費返戻	0	12,000	
(小計)	5,720,000	5,649,491	
次年度繰越金	3,748,838	4,642,458	
合計	9,468,838	10,291,949	

(収入の部合計) - (支出の部合計) = (次年度繰越金)
10,291,949 - 5,649,491 = 4,642,458

平成24年5月26日
鵬友会会長 濑谷 明幸

収支決算書及び付属書類は適正であり、その計算は正確と認めます。
会計監査 渡辺 薫良・岡 龍彦

平成23年度貸借対照表

(単位:円) 平成24年3月31日

資産の部		負債・資本の部	
現金	64,478	鵬友会基金特別積立金	6,000,000
普通預金	6,265,526	繰越金	4,642,458
定期預金	4,312,454		
合計	10,642,458	合計	10,642,458

平成23年度鵬友会基金特別積立金

(単位:円) 平成24年3月31日

項目	入金	出金	残高
期首残高	-	-	6,000,000
当期繰入	-	-	-
期末残高	-	-	6,000,000

平成23年度財産目録

(単位:円) 平成24年3月31日

預金種目	金額	預入先
現金	64,478	
郵便貯金	12,000	佐世保西郵便局
普通預金	6,180,991	親和銀行本店営業部
普通預金	72,535	親和銀行相浦支店
定期預金	4,312,454	親和銀行本店営業部
(現預金合計)	10,642,458	
出資金	0	
合計	10,642,458	

鵬友会の同窓会活動を支えてください

鵬友会会員1万3千名の同窓会活動費は終身会費で賄っており、終身会費は、概ね新入生の終身会費一括納入に頼っているのが現状です。同窓会活動は、就職セミナー、支部活動等年々活発化しており、その活動を支える同窓会活動費が逼迫してきています。終身会費を既に納入いただいた同窓の皆さんに寄付のご協力をお願いすると共に、終身会費を納めていただけていない同窓の皆さんには、是非この機会に納入をお願いします。出費多難の折とは存じますが、同窓会活動をご支援ください。

◆終身会費◆ 12,000円 (会費:1万円・入金金:2千円)
◆寄付金◆ 金額は 3千円 5千円 1万円 それ以上は随意

※同封の振込用紙にて振込み下さい。
※申し訳ありませんが、払込手数料はご負担ください。払込手数料は、郵便局窓口は120円、3万円以上は330円、郵便局ATMは80円、3万円以上は290円となります。
★お問い合わせは事務局まで
TEL:0956-47-5146 (電話窓口:平日午前9時~12時まで) E-mail:ho-yu@nifty.com

同窓会は終身会費で運営されています。会費納入にご協力下さい。



- 十月十四日(日) パーベキュー大会@新木場
 - 十月三日(土)・四日(日) 佐世保就職セミナーへの派遣
 - 十月二十一日(木) 東京佐世保主催「ふるさと佐世保の夕べ」への派遣
 - 十月中下旬の日祭日 新蕎麦打ちの会
 - 【支部長小室の素案】
 - 十月上旬(日) 一足早いクリスマス(スイーツ食へ放題)
 - 十二月二十四日(月) プレ東京キャリア形成セミナー
 - 二月中下旬の土曜日曜か月曜 新年会
 - 二月下旬の日曜 (東北復興支援・地酒を楽しむ会)
 - 東京スカイツリーと大江戸温泉物語を堪能する会
 - 三月上中旬 東京キャリア形成セミナー&東京ステイ
 - 四月七日(日) 四谷の花見
- なお、十二月までの計画分については、実施詳細を別途メールまたは郵送でお届けしています。届いていない方は、支部長の小室(080-7005-6214かkomuro@ho-yu.com)までお申し出ください。

大分支部

●支部長 安部 賢一 (48年度卒)
80977・21・5450
(自宅)
大分県別府市鶴見2-1

支部活動への参加、お待ちしております！

大分支部では、本年度久しぶりに県下各地域を巡回する地区総会を再開いたしました。再開第一回は国東別府杵築・日出地区を対象に、二十四年四月に国東別府地区総会を開催しております。出席者十一名、総会では今後の支部活動への意見が多数でたほか、その後の懇親会では大いに盛り上がりました。

さて、本年度も十月頃に支部総会を開催予定です。今回は役員改選期でもありますので、多くの皆様の参加をお願いいたします。

また、二十五年一月には、十六回目となる大分支部主催の就職セミナーも開催予定です。

二十四年一月開催の第十五回目の就職セミナーでは、大分県中小企業家同友会の事務局長、大分みらい信用金庫の人材開発部長を講師にお招きし、大分県での就職活動の状況を現役の学生に伝えると共に、その後の懇親会により支部会員との世代を超えた交流を図っております。

今後も積極的な支部活動を継続できるように、会員皆様より多くのご出席をお願い申し上げます。



寄付金合計
302,000円

寄付者名簿(H23.8~H24.7)順不同・敬称略

谷丸 優子	瀬戸口 功	永嶋伊津子	荒木 崇	岩崎 土弥
宮地 学	瓜生田憲治	永嶋 圭祐	馬場崎 直	鈴木 信喜
鮫島 圭菜	吉永 広和	太郎浦雪乃	近藤 正敏	野間 健司
山門 達明	三津木英夫	安部 勝己	大田 雅範	中島 憲二
榊原 雄三	森田 浩二	池田 修	國本 哲郎	大田 龍憲
和田 直也	横山 滋	永井 孝典	宮坂 崇	大平 信義
広瀬 一郎	恵島祥一朗	佐伯 雅典	寺田 政史	米村 裕昭
高森平太郎	千北 裕吉	山田 登之	森 康祐	竹村 聖之
松田 直樹	横原 文男	川田健次郎	岩佐裕次郎	中野 実
上坂 泰伸	近藤陽志夫	岩佐裕次郎	森 康祐	
阿比留 正	清田 健児	松本 文昭	諸田 義信	
時崎 茂	田中 一成	吉田 裕司		
松岡 紀昭	浦 和洋	林田 譲一		